

# RKU Today

流通経済大学広報誌

SPRING 2014

【特集】

これで安心！

RKU の学生サポート



流通経済大学

vol.27

04	【特集】	文：沖野雅広（企画広報室）
<hr/>		
これで安心! RKUの学生サポート		
<hr/>		
10	【学長室だより】	小池田富男（流通経済大学長）
<hr/>		
新入生を迎えるにあたり		
<hr/>		
12	【新連載】 留学体験記 第1回	取材：沖野雅広（企画広報室）
<hr/>		
アメリカ研修で得たもの		
<hr/>		
14	Close Up!	流通経済大学
<hr/>		
[教職員紹介]		
<hr/>		
16	【馬場啓一のRKUウォッチング】	文：馬場啓一（法学部教授）
<hr/>		
「スキー競技の好成績、メダル7個の理由」		
荒井宏和 スポーツ健康科学部准教授		
<hr/>		
18	【OB/OG訪問】立川が聞く。	取材：立川和美（社会学部教授）
<hr/>		
萩原哲男さん（1991年3月卒業・東京国税局勤務）		
<hr/>		
20	【留学生紹介】	取材：沖野雅広（企画広報室）
<hr/>		
バトツェンゲール・オリギルさん（モンゴル出身）		
「擬音語や擬態語に納得、日本語っておもしろい」		
<hr/>		
21	流通経済大学図書館・校友会・出版会からのお知らせ	
<hr/>		
22	NEWS & TOPICS	

## NEWS & TOPICS

2013年度卒業式及び大学院学位記授与式／卒業論文発表会／交換留学生修了式／ヨーロッパツアー／学内合同企業説明会開催／観光クラブ総会開催

## 巻頭言

RKU Today SPRING 2014

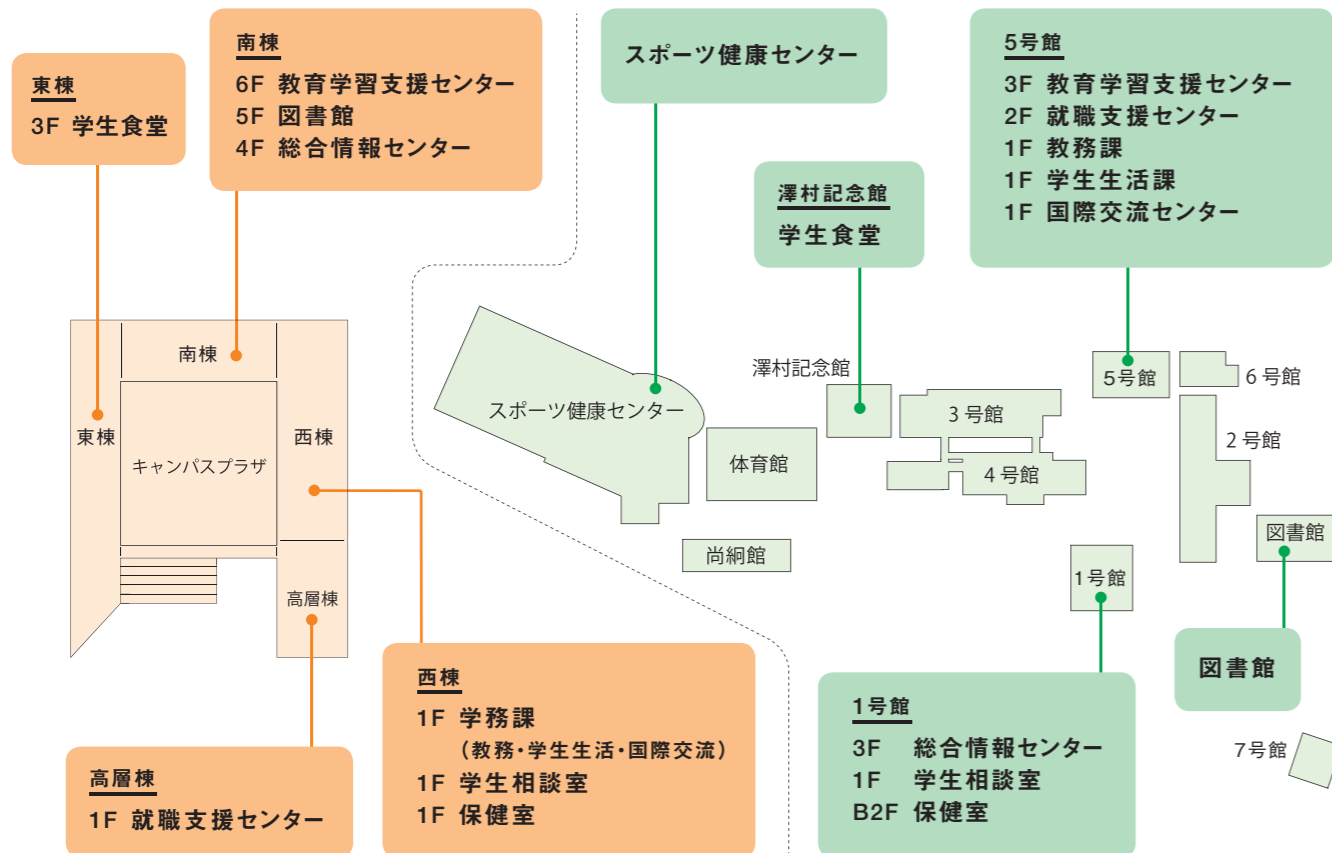


本学には世界各国の留学生が学んでいる。諸君と机を並べている外国人学生一人ひとりが、国を背負って日本で学んでいることに、気づくべきである。彼ら彼女らは一種の民間大使であり、その国を代表する存在なのだ。であるなら、そういう留学生から諸君は様々なことを学ぶべきではないか。例えば東南アジアには米食民族が多いが、その米にも様々な形状と炊き方がある。昨今取りざたされるTPPへの対処も、まずそういう彼<sup>ひ</sup>がの<sup>が</sup>違いから取り組むべきだろう。留学生たちは、諸君らに、有効な助言を与えてくれるに違いない。

## キャンパス内の学生サポート施設

[新松戸キャンパス] (S)

[龍ヶ崎キャンパス] (R)



### 学生生活課 (R) / 学務課 (S)

学生証の発行、奨学金や学割、住所変更届やセミナーハウス利用申込書などの各種届け出や申し込みを一括して担当する部署です。また部活やサークルの取りまとめ、アルバイトやアパートの紹介などを行っており、学生と一番接点がある部署です。

### 学生相談室

学生生活や自分についてなど、さまざまな相談に応じてくれる場所です。一人でかかえきれない悩みを持ったら、扉をたたいてみましょう。もちろん、秘密は厳守します。→P.6

### 保健室

入学後のRKU WEEK期間中に行われる健康診断。その結果について、説明や相談にのってくれます。また授業中のけがや気分が悪くなった場合に対応してくれます。→P.9

### 学生食堂

学生たちの胃袋を満たしつつも、健康に留意したメニューを提供してくれます。→P.8

### 教務課 (R) / 学務課 (S)

履修登録や試験、成績(進級・卒業)に関する指導、相談といったサポートをする窓口です。また教員免許状や保育士、社会福祉士などの資格取得に向けたサポートも行っています。

### 国際交流センター (R) / 学務課 (S)

海外から留学してきた学生のサポート。日本人の学生には、留学生との交流の場や協定校への交換留学、大学独自の海外研修プログラムなどの留学手続きに関するサポートも行っています。

### 教育学習支援センター

学習や授業についての支援をしています。専任職員やスタッフが常駐しており、授業や学習方法の悩みを相談することができます。

### 就職支援センター

就職に関する進路指導・相談と情報提供といったサポートを行います。1年生から参加できるキャリアガイダンスも開講。3年生には、年間をとって各種採用選考の対策講座を開催することで、進路に対する意識を高めます。

### 総合情報センター

パソコン教室や学内のネットワークを管理しています。空いている時間であれば、パソコンを自由に使うことができます。ITに関する資格講座のフォローもしています。

### 図書館

蔵書コーナー以外に、PCや視聴覚コーナーが備わっています。探している本が見つからない場合は、他大学や地域施設の蔵書を調べたり、取り寄せることも可能です。学生の図書購入希望を積極的に受け入れる「学生購入希望図書制度」も設けています。

### スポーツ健康センター (R)

施設内のトレーニングルームやプールは申請をすれば、どちらのキャンパスの学生でも使用可能。健康維持や運動不足解消にも。



〈特集〉

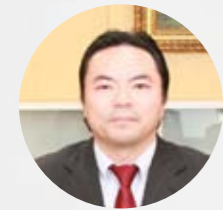
# これで安心! RKUの学生サポート

大学には、学生生活を側面からサポートしてくれる、あるいは学生だから使える施設や設備がたくさんあります。勉強したり、健康管理に利用したり、進路の悩みを相談したり、スポーツに励んだり、海外からの留学生と交流したり…。キャンパスによって、名称が多少違うところもありますが、入学時に配付されるキャンパス施設案内図をよく読んで、RKUにはどんな施設があるかを知り、利用しないともったいない!

文：沖野雅広(企画広報室)

RKUの施設について、少しは知ってもらえましたか。次のページからは、三つの施設(学生相談室、学生食堂、保健室)の担当者にQ&A形式で話を聞き、さらに詳しく紹介します。

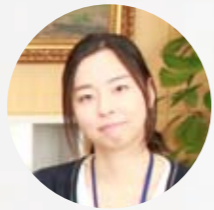




**谷津 修一 (主任相談員)**  
 本学社会学部卒。地方公務員、福祉専門学校教員を経て、本学学生相談室主任相談員。修士 (人間科学)。  
 ●所有資格: 臨床心理士・社会福祉士



**西尾 美和子 (専任相談員)**  
 大学院修了後、本学学生相談室の非常勤相談員および医療機関の心理士を経て、本学学生相談室専任相談員。修士 (臨床心理学)。  
 ●所有資格: 臨床心理士・社会福祉士



**小林 美寿々 (非常勤相談員)**  
 大学院修了後、本学学生相談室非常勤相談員。修士 (臨床心理学)。  
 ●所有資格: 臨床心理士



**中島 希 (非常勤相談員)**  
 大学院修了後、本学学生相談室非常勤相談員。修士 (臨床心理学)。

気軽に相談に来てください。  
 私たちが待っています!

当初は心理学系や教育学系の教員が兼任で学生相談を担当していましたが、より手厚い学生相談体制を確立するために、八年前から臨床心理学の専門家が学生相談専任のスタッフとして配置され、増員を行いながら現在に至っています。現在のスタッフ数ですが、専任相談員二名、非常勤相談員二名の計四名で両キャンパスの学生相談活動を行っています。それらのスタッフのうち三名は臨床心理士資格を有しており、そのうち二名の相談員は社会福祉士資格も併せて保有しております。

近年では発達障害を有する方が大学進学する機会も増えていまして、二〇一〇年に日本学生支援機構が行った調査では、六四%の大学で発達障害を有する学生からの相談が増えていることが報告されています。そうした発達障害を有する学生の支援には、臨床心理士による心理的支援と、社会福祉士による障害特性に配慮した学内外の資源を活用した支援の組み合わせが有効となりますが、社会福祉士が実際に配置されている大学はまだ少ないの



A5

Q5

**学生相談員からみた流経大の印象は?**  
 流経大は学生相談活動以外にも、学生に対する支援が手厚い印象を持っています。大学は人数教育が前提であるため、学生一人ひとりの思いをしっかり捉えた支援を行うことが大変難しい場所ですが、流経大は二年生から全員がゼミに所属する仕組みになっ

A6

Q6

**学生相談活動の将来のビジョンは?**  
 学生相談室では学生本人だけではなく、大学生活に悩みを抱えた学生の保護者の方からの相談も受け付けており、ご要望のある保護者の方と個別相談を行っております。将来的にはそうした個別相談のみならず、大学生期の若者の心のあり様や悩みについて、保護者の皆様とフラットに話し合ったり、情報交換できる機会が作れたらいいなと考えております。

どんな相談でも遠慮なく!

# 学生相談室

龍ヶ崎 1号館 1F 新松戸 西棟 1F



学生相談室が主催したグループワーク「勇気づけのコミュニケーション」の様子

学業のこと、サークルのこと、友人関係などなど、学生のさまざまな悩みごと、困りごとに関する相談を受け付けているのが学生相談室。一人で悩まず、相談員と一緒に解決の糸口を探しましょう。

A2

Q2

**大学生とこのころの問題についてお聞かせください。**  
 大学生の年代は、いつの時代も悩み多き時期です。若者は思春期以降、これまでの自己中心的な自分の捉え方から一歩進んで、他者の視点から見た自分についても理解できるようになってきます。そのため一時的に自分に対し自信を失ったり、本当の自分らしさを見失うことも多いです。

更に言えば、大学生の場合、卒業後の進路がこれまでとは異なり、学校ではなく社会です。そのため、将来どのような職業を選び社会の中でどう生きていくかという課題を先送りしてきた方も、いよいよその課題と向き合

Q1

学生相談活動とは?

簡単に言うと、大学生活を送る上で生じる悩み全般に対する相談活動と言えるでしょう。日頃行っている学生相談活動の中では、学業のことや部活・サークルのこと、友人関係や自己成長の上での悩みまで、様々な相談が寄せられています。

A3

Q3

具体的な活動内容は?

学生相談室では、悩みごとや困りごとのある学生に対し、一人あたり三〇分から五〇分程度の時間をとって個別相談を行っています。学生相談室ではいろいろな相談に乗ってもらえることを学生が認知してくれたのでしょうか、ここ数年、相談に訪れる学生が増えておりまして、二〇二三年度は八〇〇名を超える学生が相談に訪れました。

A4

Q4

**学生相談員はどのような方々ですか?**  
 流経大の学生相談活動は昭和四十九年九月に開始されました。また学生相談室では、そうした個別相談活動以外に、ストレス解消法やコミュニケーションスキルの習得及び自己理解の促進を狙いとするグループワークを毎月開催しております。グループワークに参加する学生も、徐々にではありますが増えていて、学外の専門講師をお招きして実施した「勇気づけのコミュニケーション」には、四五名の学生が参加してくれました。ぜひ学生たちには、こうしたグループワークも上手に活用していただければと思います。





健康管理には!

# 保健室



新松戸  
西棟 1F

充実した学生生活を送るためには、  
なんといっても健康な身体が不可欠です。  
体調に不安があったり、ケガをした時には  
遠慮なく保健室へ。

龍ヶ崎  
1号館 B2F

その際に、学生の日常生活や食生活などの話をしながら、気になる点がないかを確認します。改善の見通しが見つからない場合は、定期的にきていただく校医の先生と連携し、診断を受けてもらいます。また、他のサポートとしては、授業や部活・サークル活動の際に起きたケガや体調不良に対して応急処置を施したり、保健医のネットワークで流行り病についての情報を得たら、学内に注意喚起もしますね。

A1

新入生対象の健康診断の検査内容はX線、身長、体重、視力、心電図、尿、血液、血圧、聴打診などです。

Q1

まもなく、四月に行われた健康診断の結果を配布する時期になりますが、保健室ではどのようなサポートをしているのでしょうか。

A2

新入生対象の健康診断の検査内容はX線、身長、体重、視力、心電図、尿、血液、血圧、聴打診などです。それらの結果を受けての個人指導が保健室の中心となる業務になるかと思えます。例えば、血圧の結果が良くない学生に対して、週二回程度の血圧測定をするよう勧めます。

Q2

保健室として、今後どんなサポート体制にしていきたいですか？

流経大は一人暮らしをしている学生も多いです。学生たちを預かる立場として、保護者の方たちから安心して学生たちを預けてもらえるよう、より安全に大学生活を過ごせる環境を整えていきたいですね。



今回はタイトルにもあるとおり、学生サポートについて紹介してきました。新入生にとっては新しい生活が始まり、戸惑うことや、わからないことがあれば、ここで紹介した施設をぜひ有効活用してください。また、在学生にとっても、新しい発見となる場所があったかもしれませんね。流経大は、二〇一五年に創立五〇周年を迎えます。しかし、このサポート体制についての考え方は一貫して変わらないでしょう。学生たちが、より安全に大学生活を過ごせるよう、保護者の方々が安心して学生を預けられる大学として、充実したサポート体制を構築し続けていきたいと考えています。

## あとがき

今回はタイトルにもあるとおり、学生サポートについて紹介してきました。新入生にとっては新しい生活が始まり、戸惑うことや、わからないことがあれば、ここで紹介した施設をぜひ有効活用してください。また、在学生にとっても、新しい発見となる場所があったかもしれませんね。流経大は、二〇一五年に創立五〇周年を迎えます。しかし、このサポート体制についての考え方は一貫して変わらないでしょう。学生たちが、より安全に大学生活を過ごせるよう、保護者の方々が安心して学生を預けられる大学として、充実したサポート体制を構築し続けていきたいと考えています。



栄養バランスの良い食事を!

# 学生食堂



新松戸  
東棟 3F

本学学生のみならず、地元住民の方にも愛されている新松戸の学生食堂「銀座スエヒロ」チーフである、細田さんに話を伺いました。

龍ヶ崎  
澤村記念館

澤村記念館に食堂が移設された1982年から勤務されている星野さんに話を伺いました。



V

A1

銀座スエヒロが提携しているところは企業の食堂が多いんですね。なので、学生の気持ちになってメニューを考えるようにしています。少し味付けを濃くしたり、ポリウム感をもたせるなど、銀座スエヒロで提供しているメニューに工夫を加えたり、まったくのニューメニューで勝負します。

Q1

学生のためのメニューを考える時に気をつけていることを教えてください。



V

A1

最初は、自分も若かったから学生たちが自分の弟や妹に見えましたね。今は、歳を重ねたから自分の子どもみたいな感じかな。かわいくてしょうがないですね。「おっちゃんお腹へったー」なんて言いながら来る学生も多いんですよ。そんな学生たちが満足して、帰って行く姿を見ると、うれしいですね。「美味しかったー」なんて言われたら最高。

Q1

学生と接してみてもいいですか？

A2

一〇月から魚をメインとした定食も始めています。飽きのこない幅広いメニューで学生のお腹を満たしたいですね。

Q2

どんなメニューが人気ですか？



一〇月から魚をメインとした定食も始めています。飽きのこない幅広いメニューで学生のお腹を満たしたいですね。

A2

昨年は、季節のイベントにあわせたメニューを提供して、好評をいただいたので、新入生歓迎のメニューや、イベントごとに新メニューを打ち出したいと思っています。

Q3

新年度が始まりますが、何か学食として挑戦したいことはありますか？

二階のカフェでは、店内で焼くパンが人気で、学生のみならず、地元住民の方もたくさん買いにきてくれるんです。

A3

今後は、食べやすいもの。魚の定食の場合、骨がないものを購入して調理したりしますね。

Q3

今後、取り組みたいことは？

当たり前ですが、安心・安全な食事が提供できる形式であること、と食堂のリニューアルに伴い、メニューの大幅改革を考えています。龍ヶ崎は、食堂以外にも学生が過ごせるスペースがたくさんある。そんな場所で食べられるような形で提供できるメニューなどを考えていきたいですね。

【学長室だより】

# 新入生を 迎えるにあたり

学長 小池田富男



vol.20

Tomio Koikeda  
Gakuchoshitsu Dayori

流通経済大学は二〇二四年度も五学部八学科に二〇〇名ほどの新入生を迎えることになりました。本学の教職員一同は、新入生の皆さんを心から歓迎しております。現在、我が国には、国公私立合わせて七八〇校ほどの四年制の大学がありますが、皆さんはその中からこの本学を選択し、自ら進んで進学してきたという訳です。この選択は、おそらく皆さんの「人生の選択」の中でも数少ない、これからの人生にとって大きな転機となり得る、重要な選択になると言っても過言ではありません。

この選択が誤りでなかったかどうかは、これからの皆さんの頑張り如何にかかっております。四カ年の教育の成果という形で皆さん自身がそれを証明しなくてはなりません。言うまでもなくそれは、これからどれだけ成長し、それぞれの「夢の実現」に近づくことができるかで評価されます。本学には、人文・社会・自然・スポーツ等のあらゆる分野を専門とする教員が、専任及び非常勤を合わせて三七〇名ほどおります

から、いかなる夢であろうと、その実現に向けて、十分お手伝いすることが可能です。

さて、全国には私立の大学が六〇〇校ほどありますが、それらはすべて国公立大学法人と性格を異にしております。私立大学というのは、個人もしくは法人がそれぞれの教育理念を実現するため、社会に寄附をして設置した学校であり、固有の「建学の精神」に基づいた教育を行っているからです。同じ経済学部や法学部、あるいは社会学部といった名称を持つていても、大学ごとに「建学の精神」に違いがあり、国の定めた「大学設置基準」の要件を満たす範囲で、教育プログラムやカリキュラムにそれぞれ特色を持たせているからです。そうでなければ、私立大学の存在理由もありません。

いうまでもなく流通経済大学は、日本通運株式会社という世界でも屈指の総合物流企業が、法人として資金を拠出して設置した大学であり、こういった例は他にあまりありません。物流業界をはじめ、産業界からの強い要請にもとづいて、

将来リーダーシップを発揮して社会に貢献できる「専門的職業人」の育成を目標に、設置されたという訳です。本学が、他の私立大学に較べてそれだけ公共性も高く、ロジスティクスやマネジメント等の専門科目を軸にしたカリキュラムにもとづいて、実践的な教育プログラムを構築しているのも、そのためです。

世界の各国は、今、経済のグローバル化に伴い、緊密で広範囲なサプライチェーンの中に組み込まれつつあります。そこで物流は、経済活動に伴うモノの流れや保管、サービスの全体を網羅する、世界経済の動脈の機能を発揮し、ますます重要になっております。企業もまた、こうしたネットワークの拡大・深化に対応し、モノづくりの立地競争力を高めるべく、ロジスティクスの分野に大きな関心を寄せています。原材料の調達から消費者への製品の販売に至るプロセスの全体最適化を図るため、最先端のICT技術を駆使しながらマネジメントできる人材を必要としているからです。こうした国際競争力の強化の

ために、国際交通ネットワークの強化を図るだけでなく、大規模災害時における旅客及び物

流のネットワーク機能の確保や、その迅速な回復のための対応、また人口減少と少子高齢化の



【学長の活動】 2013年12月～2014年2月

- 12月
  - 2日 埼玉県小松原高等学校、浦和実業高等学校訪問
  - 3日 学校法人日通学園理事会
  - 4日 岡山県関西高等学校訪問
  - 10日 拡大全学入試協議会
  - 13日 国土交通省加藤物流審議官来訪
  - 17日 拡大全学入試協議会 大学協議会 大学入試センター試験委員委嘱 経済学部親和会出席
- 1月
  - 7日 つくばね旗高等学校剣道大会、大学ラグビー選手権大会観戦
  - 9日 私立大学連盟賀詞交換会
  - 14日 輸送経済新聞社賀詞交換会
  - 18～19日 私立大学連盟学長会議
  - 21日 大学入試センター試験実施
  - 28日 流通経済大学研究倫理審査委員会
  - 28日 拡大全学入試協議会 交換留学生修了式
- 2月
  - 1日 3科目型I期入学試験実施
  - 4日 拡大全学入試協議会 学部長連絡会議
  - 5日 問題自由選択型入学試験実施 青島客員教授来訪
  - 7日 拡大全学入試協議会
  - 10日 「大学案内」学長インタビュー
  - 12日 3科目型II期入学試験実施
  - 13日 問題自由選択型II期入学試験実施
  - 14日 拡大全学入試協議会
  - 17日 松戸警察署長退任挨拶来訪
  - 25日 松戸警察署長着任挨拶来訪
  - 26日 教員免許更新講習実施委員会 拡大全学入試協議会 大学協議会

中で危機的状況にある地方・地域での公共交通の確保・改善のための施策、更には環境負荷の軽減のための基盤整備など、我が国政府もようやく昨年暮れに「交通政策基本法」を制定し、本腰を入れて取り組み始めたところとす。国土交通省をはじめとする各機関の、本学の教育と研究に寄せる期待も、ますます高まっております。

本学の「実学教育」は、たんに小手先の技術や知識を教えることではなく、多様な環境の中で自ら問題を設定し、それを解決するために学んだ知識や技能を有効に活用できる能力（コンピテンシー）を身につけさせることを目標としています。しかも「職業」を、たんなる利益追求の手段としてではなく、

自己実現のための活動として理解できる「キャリア意識」と、不断に新しいことに挑戦しようとする「企業家精神」を持たせることも考えています。それゆえ、安易なブランド志向の大学選びでは、どの大学を出たかというだけの自己満足にはなつても、将来社会に出て何ができるかという能力や自信には繋がらないでしょう。現代はこの大学を出ても、その二割三割がフリーター、ニートの時代だからこそ、本学のような、現代の経済や産業界において最も活躍できる分野の専門的職業人の養成を目標とする大学で、自分を磨きあげていただきたいと願っております。



## 自分がやらなきゃ、何も始まらない(板谷)

「自分がやらなきゃ、何も始まらない」と留学を決意した自分を奮

見知りもあり、言葉返すことができなかつたのですが、数日で馴れ、頑張つて答えていました。生活面では、ホストファミリーや現地の人との会話で、自分のリスニング能力が足りなくて会話が成り立たず迷惑をたくさんかけるなど苦い体験もしました。でも「One more please (もう一回)」と言い、話し続けることやホストファミリーの子どもたちと遊ぶことで、どんどん会話が生まれ、最後にはたくさんの人たちの輪に入ることができたと思います。どのような方法が、英会話を上達させるのか、気付いた瞬間でもありました。ともかく、僕の中のイメージが確認に変わった瞬間でした！

## 流通経済大学の留学制度

**交換留学**  
本学と学生交換に関する協定のある大学に1年以内の期間で留学するもの。

**海外留学**  
2カ月以上1年以内の期間で留学するもの(「交換留学」を除く。)

**異文化研修**  
2週間以上2カ月未満の期間で、原則として夏季、冬季及び春季の休業期間中に留学するもの



流経大以外の学生たちとも合流。海外の人だけではなく、日本人留学生とも仲良くなりました



アクティビティの一つ、ラフティング。男子チームは、ハードなコースを選択したため、岩に乗り上げたり、大転倒するなど、恐い面もありましたが、今ではいい思い出

昨今、よく耳にする「グローバル化<sup>(\*)</sup>」。この影響を受けているのは、ビジネス業界だけだと思いませんか。経済的な視点で見た場合、国内市場と海外市場の境界がなくなり、日本製の商品を海外で生産する、などの変化が顕著になっていますよね。教育の現場でもグローバル化の波(留学・異文化体験・海外インターンシップなど)が押し寄せています。この連載では、留学を体験した学生に話を聞くことで、代えがたい学びや経験の場であることを紹介したいと思います。

\*グローバル化とは：政治・経済・文化などの様々な側面において、従来の国や地域の壁を超えて、地球規模で資本や情報のやり取りが行われること。



るようになりたいと思ひ、留学を決意しました。留学にもいろいろな方法があると思いますが、なぜ今回の異文化研修に申し込んだのですか。板谷 中学から吹奏楽部に所属していた、海外の有名なオーケストラの演奏を日頃からよく聞いていました。そこから海外へ興味を持ちました。部活が忙しくて海外に行く時間がありませんでした。大学で必ず行こうと決意していたので、研修などのサポートしてくれる大学がいいな、と思い国際観光学科のある流経大に入学しました。

## 自分の目と耳で体験したかったんです(石井)

「留学を決意した理由を教えてください。」 石井 月並みですが、以前から海外の文化・言語に興味があつたんです。ホームステイをし、ネイティブな英語に触れる。最近では、インターネットの普及や海外を紹介するTV番組、本の出版など、海外を知る機会が増えてきましたよね。でも自分の目と耳で体験したかったんです。そんな時に、流経大の研修を知り、参加しました。板谷 英語は、得意ではありません。むしろ苦手ですが、現地で自分を追い込むことで英語を少しでも話せ



(右から) 板谷はるかさん(社会学部 国際観光学科4年) 石井 歩さん(社会学部 社会学科3年) 黒田義一職員(新松戸総合事務センター 学務 国際交流担当)





[総務部人事課]

水田 研 係長

本学の特徴を生かして

私は他大学出身の職員です。そのため、入職後、他大学と比較して本学の特徴を様々な点で感じることができました。一番強く感じたのは、学生と教職員の距離が近いということです。

キャンパス内で見かければ気軽に声を掛け合い、授業以外の時間でも学生と教職員が話をしている姿をよく目にします。また交流は学内に留まらず、学外授業や合宿はもちろんのこと、様々な機会に学生と教職員が一体となって学外での催しに参加しているのを見聞します。

社会に出る直前の大学生時代、この時期の人との出会いや経験が将来に大きな影響を与えることがあります。興味を抱いていた分野の人の話を聞いたり、体験してみたら、思い描いていたものと違ったり、一方であまり興味がなかった分野の人の話を聞いたり、体験してみたら、とても面白かったりすることも。学生の皆さんには、この恵まれた環境を生かし、教職員との様々な会話や経験、人脈等を通して、何か将来に向けた良いヒントを得てもらえたらと思っています。



[スポーツ健康科学部]

桑野久子 講師

英語と文化

「英語」と「外国文化論(西欧)」を担当しております。専門は英文学(英詩)ですが、大学で英米文学科に進んだのは、イギリスの音楽や本、言葉が好きという程度の理由からでした。以来、文学だけでなくイギリスの文化全般に興味を持ち続けてきました。「外国文化論」でもイギリス文化を中心に講義を進めていますが、英語がその文化と密接に結びついていることを改めて実感しています。

学生時代、「ある小説を翻訳した時に‘Kleenex’が解らず苦労した」という先生の話が強く印象に残りました。私自身も産業新聞で新技術紹介のコラムを翻訳する仕事をした際、辞書に載っていない英語に戸惑った経験があります。言葉は人間の生活・文化の中から生まれ、その中で生きているものなのです。

英語は何かを伝えるための手段ですが、無機質な道具でなく、生活に根差したもとして身につけたいものです。そのために外国のことを少しでも知って視野を広げること、それを通して自分の国をよく知ること、その楽しさを伝えることができたらと思っています。



[法学部]

溝田泰夫 教授

知力で未来を切り開け

大学卒業後、31年間日本銀行で働き、その後の10年間は地方銀行役員として茨城県内で仕事をしてきました。そして縁あって本学教授となり、この4月で3年目を迎えます。

日銀では、主として市中にある銀行の経営状況の分析に従事したほか、金融システム全般についても勉強する機会に恵まれました。平成に入ってから、バブル崩壊による銀行倒産という異常な事態を目の当たりにしました。地方銀行に転じてからは、会社における現実と会社法とのくいちがいについて考えさせられました。勤務先銀行の合併も経験し、まさに「実践的会社法」ともいべき10年間でした。

こうした背景を踏まえ、大学では、担当の「現代金融事情」「会社法」等を通して「現実の社会はこういうものだ。さて、諸君はどうする?」と問いかけています。

学生諸君には、この先の人生を「知力で切り開いていくのだ」という覚悟を固めてほしいのです。また、たくさんの本を読むことの重要性を強調したいと思います。



[流通情報学部]

藤田幸広 准教授

教室をライブ空間に

10代の時はワイルドなロックミュージシャンを目指していましたが、いつの間にか大学の教師になっていました。教師は絶対になりたくない職業の一つだったので、何とも皮肉なものです。

しかし、「こんな先生がいたらいいな」と学生時代に思っていた教師像に、いざ自分自身が近づこうとすると、大きな生きがいがありました。それは「学生を笑う教師」ではなく「学生とともに笑う教師」になること、そして教室を学生が盛り上がるライブ空間にすることです。エキサイティングな授業をパフォーマンスすることは本当に楽しいことです。ちなみに英語の授業ですが。

2年前に他界した母も教師でした。38年間、小学校で音楽を教えていましたが、「毎日、児童と音楽の旅をすること」が生きがいでした。近くに母という存在がいながら教師という職業には否定的、10代とはそんなものです。おそらく、私の娘も教師である私の姿を見て、教師ではなくワイルドなロックミュージシャンを目指すことでしょう。



[社会学部]

喜多秀喜 教授

夢・困難なことに  
チャレンジする

本学に移って来て8年近くになります。講義は選択必修の「生涯スポーツ」を担当しています。一般の学生は(留学生含む)バスケットボールが大好きですね。残念ながら私の専門は陸上競技の長距離です。私自身オリンピックや日本のトップを目指して競技に打ち込んできました。競技者は規則正しい生活を要求されます。指導している駅伝部は全寮制です。規則・時間の厳守、礼儀・報告はきちっと行う。1年生はトイレ・風呂掃除があります。寮生活は競技する上での精神的な基盤と共に人間性を養う場だと考えております。常に頭の中は箱根駅伝予選会突破と選手のことで、「箱根駅伝を走りたい」という夢を何としても叶えてあげたいです。もちろん選手たちにとっても講義に出ることが1番で部活は2番目です。学生に言いたいこと、伝えたいことはチャレンジする前に(勝てないと)決めつけないでほしいということ。夢を達成するには強い意志がいります。辛いこと・苦しいこと・自己嫌悪との葛藤、不安を経て勝利を掴めるものだと思うからです。



[経済学部]

吉村 聡 教授

理論と実務

専門は会計学です。本学では、原価計算論と管理会計論を担当しています。会計(学)は、理論と実務が表裏一体の関係にあるとよく言われます。しかし、授業で学生に説明していることが、本当に企業で実践されているのかを疑問に思うことがあります。そこで、こうした疑問を解決するため、昨年、約200社を対象としたアンケート調査を行いました。テーマはわが国における企業予算の実態です。企業予算は現代の企業において不可欠の経営管理要具であり、ほとんどの企業で採用されている会計手法です。アンケート調査の結果から、授業で説明していることがほぼ実践されていること、すなわち理論と実務が乖離してはいないことが明らかになり、授業で間違ったことを教えてはいなかったと安堵したものです。ただし、理論と実務の間にはかなりのタイムラグがあること、すなわち会計理論が会計実務として普及するには、かなりの時間が必要となることも明らかになりました。何事も新しいことを始める場合には、時間が必要なようですね。

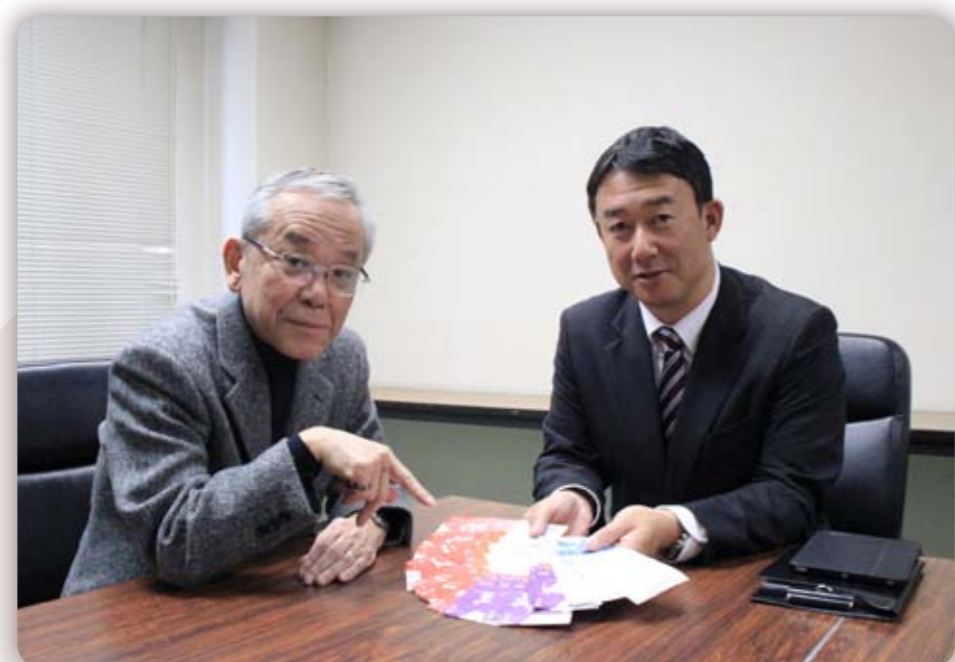


馬場啓一の  
RKU  
ウォッチング  
RKU Watching



●荒井宏和／あらい・ひろかず

1969年、千葉県茂原市出身。筑波大学大学院修了後、同大学体育センター文部技官、独立行政法人国立スポーツ科学センタースポーツ情報研究部を経て2006年に本学スポーツ健康科学部に就任。「スポーツ情報戦略・分析論」などの授業を担当。また、アテネオリンピックから夏季、冬季大会の情報戦略サポートを行い、公益財団法人日本オリンピック委員会ナショナルコーチアカデミースクールマスター、和歌山県タレント発掘育成事業、全日本スキー連盟メダル奪回戦略室委員として広くスポーツ界に携わる。



Hirokazu Arai × Keiichi Baba



【第24回】

スポーツ健康科学部  
荒井宏和  
准教授

「スキー競技の好成績、メダル7個の理由」

ソチ・オリンピックから戻られたばかりの荒井先生から、現地での様子をうかがった。「ソチには今回の冬季オリンピックのため、本番も含め都合3度参りました。全日本スキー連盟の委託によるお仕事です」なんと3度も。通算すると2カ月以上現地に滞在したことになるという。

「実は前回の冬季五輪でスキー種目は一個もメダルが取れなかったのです。すべてスケルト競技。スキー以外の種目でした。それを憂慮した全日本スキー連盟から委託を受け、何故メダルが取れないのかを分析し、何とかスキーにメダルをもたらしてもらいたい、とオーダーを受けたのです」

スキーの不振がそうも深刻だったとは知らなかった。それ

にしても相当ハードなミッションではありませんか。

「そこで、スポーツ情報戦略分析と呼ばれる分野が登場します。環境調査すなわち選手一人ひとりの実力や潜在能力、それらを伸ばす方策を考え、さらには競合各国の情報や相手選手の情報などを広範囲に探ることから、これは始まりです」

孫子の兵法である。すなわち「敵を知り、己を知らば、百戦危うからず」。

「そうですね。それをインターネットのオープンソース情報やワールドカップのリザルトを分析し、結論を導くわけです」

スポーツにも、こういう科学的な方法が用いられる時代なのだ」と知る。

「結果は、ご承知のように金

メダルが羽生結弦選手で、これはスケルト種目でしたが、残り七個の銀や銅のメダルは、全てスキー種目が獲得しました」

を食い止め、スキー人気の復興を目指すきっかけになったといえます。その大きな要因はスポーツ情報戦略分析の導入にあったと、喜んでおられると聞きました」

「相手の出方は勿論以前から研究対象でした。しかしこちらの選手一人ひとりについて環境を調査し、その情報を分析、結果を相手の出方にシミュレーションさせて、選手に反映させる。こういう一種のマン・ツー・マンの戦略形成は、これまでありませんでした。このようなカタチで総合的に戦っていくというの、新しいのです」

前人気は決して高くなかったスキー競技で、このように素晴らしい結果が出せたことに、国民は大いに驚き、そして満足している。それを可能にした関係者の中に、本学の荒井先生が加わっていたことを、大いに喜びたい。

環境調査に基づく各人のメニユー作成と、対戦相手についての徹底的な情報収集が見事にかみ合っており、今回の凄い結果が生まれた。

荒井先生、お疲れ様、ご苦労様でした。

「ソチ五輪でのスキーの大量メダル獲得は、全日本スキー連盟にとって、若者のスポーツ離れ



ソチオリンピックの公式チケット

オールマイティな人間になることを心掛けると  
将来の道が広がります。

——萩原さんは経済学部経営学科のご卒業ということですが、経済学を学びたいとお考えになったきっかけは？

私が入学したのは、ちょうどバブル景気の頃でして、金融などの業界に興味を持っていました。社会に出てからも後々使う分野であることも考え、経済学部で勉強したいと考えました。

——大学生活はいかがでしたか？

その頃はほとんど東京から出たことがなかったので、龍ヶ崎に通信始めた当初はちょっと「さびしいところだな」と感じていました。もちろん、キャンパスに入ってしまったえば、こじんまり、和気あいあいとしておりましたので、過ごしやすかったですよ。また、二年生の頃、友達と「流通経済研

——それでは、四年生の就職活動では、公務員試験を受験されたのですか？

そうです。私は国税専門官試験という国税局に採用されるための試験と、中央官庁に採用される国家公務員二種試験と両方に合格することができたのですが、筆記試験後の面接の段階で、国税局の方が自分に合っていると感じ、今の仕事を選びました。

——国税局と聞くと、厳格なお仕事というイメージなのですが、実際はどのようなお仕事をされるのですか？

そうですね。まず大学を卒業しますと、四月から六月までは、新卒者が全員一か所に集まって、税務の基礎を勉強する研修を受けます。私の時は、全国から約九〇〇人の同期が船橋の研修所に集まりまして、一緒に勉強しました。合格者には最初から強く国税専門官を志望してきた人も多く、すでに公認会計士や税理士の資格を持っているという人もいました。私自身は、大学で経済学を学んでいましたが、税のプロとしてはゼロからの勉強でしたので、所得税や法人税、簿記など必死に学びました。その

OB/OG訪問

## 立川が聞く。

1年生の頃「なにかやらなくちゃ」と受講した公務員試験対策の課外講座が今の仕事につながったという萩原哲男さん。現在は東京国税局徴収部でお仕事に取り組まれています。

第23期生  
(1991年3月 経済学部卒業)

萩原哲男 さん  
Tetsuo Hagiwara

〈取材〉  
立川和美 (社会学部教授)



研究会」という同好会を始めまして、部室で仲間と物流に関する本を読んでディスカッションを行ったり、つくば祭に参加するために調査をしたりといったことをしました。これはとても楽しかったですね。

——経済や物流に興味をお持ちだったのですか？

当時は、はっきりとそうだったというとも言えないのですが、実は一年生の頃から公務員試験対策講座や公認会計士を目指す講座といった課外授業を受けていたんです。というのも、流経大は物流に強くて就職もよいけれども、ただ四年間授業を受けているだけでは、だめだろうと考えたからです。そこで、授業の後の夕方の時間に開講される講座を受

け始めたのですが、公認会計士の講座は自分には合わないなと感じて、公務員試験対策講座に絞って勉強するようにしました。授業の内容も、受験勉強の延長のような数学など教養的なものもあり、飽きずに面白くついていたことが大きかったですね。それで、三年生の時に、この講座を担当されていた高橋靖先生のゼミに入りました。

——高橋先生のゼミはいかがでしたか？

公務員試験を目指す者のほかに、柔道や剣道といった部活に打ち込む学生も多く、ユニークな個性が集まる楽しいゼミでしたね。何回かは大学の中で合宿をしてゼミの仲間と一緒に寝泊まりして勉強しましたが、良い思い出です。

後、七月から葛飾税務署に勤務することになりました。

——そちらでは、どういったお仕事をされたのですか？

私の担当は、徴収部門というところで、簡単に言うと滞納者から税金を回収するという仕事で、現在までこの部門の仕事がメインですね。国税専門官にはいろいろな仕事があるのですが、中には、どうしても相続や法人といった部門で働きたいというこだわりを持っている人もいます。しかし私は、国税専門官になったのも大学に入学して課外講座を受講し始めたからということだったので、そういった先入観はなかったんです。ですから、むしろ素直に仕事に取り組むことができました。これは良かったなと思っています。この仕事は、滞納者という相手の立場や状況を常々考えつつお願いに上がらなければいけませんし、一方で、もちろん厳正的確に処理をしなければいけません。こういったところは、本当に難しいと感じています。

——なるほど、お仕事の難しさがあるんですね。それでは、最後に本学の学生に一言お願いいたします。

大学時代の早い時期から、一つでいいですので、興味のあることに積極的に挑戦してほしいと思います。私自身、一年生から始めた公務員試験対策講座が就職に直結するとは、当時は思っておりませんでした。ただ、「なにかやらなくちゃだめだ」と思い、当時の自分にできることが課外講座の受講であった、そしてそれが結局は今の仕事につながったんです。それからもうひとつ、オールマイティな人間になることを心掛けてほしいと思います。たとえば就職をとつてみても、必ずしも自分の希望した会社に行ける、自分の希望した部署に行ける、というわけではありません。そういう時に、希望していないから辞めてしまうのではなく、「頑張っ続けていくためには、どんなことにも自分が開いていることが大切なんです。職場の人間とうまくコミュニケーションをとり、自分なりに創意工夫をして対応できる人間になるためには、「何でもできるんだ」という姿勢を持つ、つまり「オールマイティである」ことが必要だと思います。

——どうもありがとうございます。

【図書館】

2013年度 読書コメント大賞決定

流通経済大学図書館「読書コメント大賞」の2013年度年間大賞1点と年間優秀賞2点が決定しました。応募総数は328点でした。

「読書コメント大賞」は、学生が本を読んで感じたことをポップ広告風の作品にして応募する企画で、学生の読書推進策の一環として2007年から開催しています。



【年間コメント大賞】

長谷川尚輝  
(経営学科2年)

『高瀬舟』  
森鷗外 著 (新潮文庫)

【年間優秀賞】

梅原 翔 (経済学科4年)

『パパとビールのイギリス』  
飯田操 著 (平凡社)



【年間優秀賞】

齋藤優華  
(社会学科1年)

『人生がときめく片づけの魔法』  
近藤麻理恵 著 (サンマーク出版)



【校友会】

校友会第3回幹事会開催

2月22日に校友会第3回幹事会が開催されました。今回は龍ヶ崎キャンパスで会議、懇親会、宿泊の行程で行いました。キャンパスの発展に驚き、また懐かしさの中で活発な意見が交わされる会となりました。



【出版会】

新刊のお知らせ

本書は、貨物自動車運送事業に対する事業規制の端緒から現在までの法運用と課題について整理、分析したものである。貨物自動車運送事業が市場での公正な競争条件を確保し、今後とも引き続きわが国の経済を支える基幹産業としての役割を果たすためには、事業をめぐるガバナンスの根幹を何処に求めればよいのか、改めて考える際に大きな示唆を与える内容となっている。具体的には、貨物自動車政策の歴史、関係諸法の内容と運用、規制緩和・改革の影響と効果について検討し、さらに最近の政策についても言及している。現在及び今後の、物流、貨物運送事業を考える上で、必読の一書と言える。



『貨物自動車政策の変遷』  
野尻俊明 著  
(A5判・上製・374頁・税込5,000円)



——留学する前は、どんな勉強をしていましたか？  
僕は、モンゴルのウランバートル出身で、中学校までそこで過ごしました。ただ、学校がモンゴルとロシアの共同学校だったので、教員の8割はロシアの方で、授業もほぼロシア語だったんです。入学したばかりの頃は文字が似ているけど、文法が違うので少し苦労したことを覚えています。中学に進んだからは、ドイツ語や中国語などの選択科目から日本語を選んで勉強していました。

——なぜ、日本語を選んだのですか？  
日本語の豊かな表現がおもしろかったんですよ。日本では指を鳴らす時に、「ポキポキ」といったり、人混みの様子を「ザワザワ」と表しますよね。本当に、うまい表現だなあと感心しています。モンゴル語もロシア語も、そんな表現はなくて…。だから、もっと日本語を知りたくて選びました。

——日本に留学したきっかけを教えてください。  
留学する前の僕は、航空関係の仕事に就きたいと考えていました。いろいろな国内に限らず国外も。調べていくうちに、日本の石川県に航空業界への就職を強力にサポートしている学校を見つけて、ここで頑張れば航空関係の仕事に就けると考え、留学を決意しました。

——将来のことや、やりたいことを教えてください。  
将来については、「母国での就職」「日本に残ったの就職」両方を考えています。日本の企業に就職し、モンゴルで働くことができれば一番ですね。でも、難しいかもしれません。だからこそ、流経大で経済を学び、自分のやりたいことを納得して決められるように力をつけていきたいですね。今やりたいことは、高校時代の仲間に合わせて、自分の成長した姿を見せたいと思っています(笑)。

Hello!  
international  
student!



留学生紹介

vol.25

モンゴル・ウランバートル出身のオリギルさんは、経済学を勉強し、自分のやりたいことをみつける努力をしています。

取材:沖野雅広(企画広報室)



「擬音語や擬態語に納得、日本語っておもしろい」

経済学部 経済学科2年 バトツエンゲール・オリギルさん Batsengel, Orgil

## RKU Schedule

2014年4月～2014年7月

### 全学

**4月**  
**1日** ●入学式  
**2日～8日** ●RKU WEEK  
**9日** ●春学期授業開始

**6月**  
**14日・15日** ●青春祭(新松戸キャンパス)

**7月**  
**22日** ●春学期授業終了  
**23日～8月5日** ●春学期定期試験

### 就職関連 (就職ガイダンス)

**4月** ●就職への心構え  
**5月** ●自己分析対策  
**6月** ●ゼミ別・就職活動の諸手続き



### [編集後記]

●ロシア・ソチでの冬季オリンピックも閉幕し、今年の大きなスポーツイベントとしてはサッカー・ワールドカップ(開催地ブラジル)が待ち構えている。

いつの頃からか、こうした大きなスポーツイベントの総合プロデュースを広告代理店が仕切るようになってきた。

これまでテレビ・ラジオ・新聞・雑誌等のコミュニケーション媒体に関しては広告代理店が媒体元に代わってスポンサー探しを行ってきたのだが、現在はこれらの媒体コントロールに加えてイベントの運営そのままで司っている。

その訳は? 広告代理店はもはやマーケティング会社にシフトしてきているからに他ならない。マーケティングとは経済市場への様々な「介入」と捉えてもいいかもしれない。

●池に小石を投げ込むと波紋は大きく広がってゆく。池を市場と考えると小石は正しく「介入」の役割を担っている。市場に対して何を投げ込むのか…。商品・サービス・ノウハウ・情報・人材・etc. その結果どの様な波紋が生じるのか、マーケティング戦略の構築である。

大学を目指す受験生、そして彼等を取り巻くステークホルダー(関係者)に対して、大学でのキャンパス生活、就職支援を通して大学も「マーケティング」を真剣に考える時代に入ってきているのではないだろうか。

(編集子)

## ヨーロッパツアー

# 4

2月15日から25日にかけて10泊11日の日程でローマ、フィレンツェ、ニース、パリを巡る第38回ヨーロッパツアーが行われました。

今回のツアーに参加した29名の学生たちは、それぞれ貴重な体験と思い出を胸に無事帰国しました。



## 観光クラブ総会開催

# 6

3月1日、第15回目となる流通経済大学観光クラブの総会と懇親会が開催されました。

観光業界に従事されている卒業生たちと就職活動を本格的にスタートした在学生とが意見交換している姿が印象的でした。



## 学内合同企業説明会開催

# 5

1月27日から30日の4日間、新4年生を対象に企業担当者(延べ215社の人事担当者)と学生の直接面談の場となる企業説明会が両キャンパスで開催されました。



## 2013年度卒業式及び大学院学位記授与式

# 1



3月20日、龍ヶ崎キャンパス・スポーツ健康センター内メインアリーナで、学部生1,155名と修了生27名が巣立ちました。卒業式で小池田学長が「どういふ途に進まれようとも、またいかなる困難が待ち受けようとも、一人の自立した職業人としての誇りと自覚を忘れずに、最後まで自分を信じて、与えられた使命を全うしてほしい」と激励の言葉を送りました。



## 交換留学生修了式

# 3

1月28日、東北財経大学、海南大学からの交換留学生(受入れ)の修了式が龍ヶ崎キャンパスで開催されました。東北財経大学からは、祁 萌芸(キ・ホウゲイ)さん(右端)、海南大学から、劉 連焯(リュウ・レンセキ)さん(中央)、鄒 璇(コウ・セン)さん(左端)が出席し、小池田学長より祝辞が贈られました。



## 卒業論文発表会

# 2

社会学部と流通情報学部の卒業論文発表会が龍ヶ崎、新松戸の両キャンパスで開催されました。

学生たちは本学での4年間の学習、研究の成果である卒業論文を担当教員や学生たちの前で緊張した面持ちで発表し、終了後はやり遂げた充実感あふれる表情となっていました。



# 2014 OPEN CAMPUS

## 2014年度 オープンキャンパス 始まります!

流通経済大学は今年もオープンキャンパスを開催します。  
 新松戸キャンパスは6月7日、龍ヶ崎キャンパスは6月22日からスタート予定です。  
 この機会にキャンパスの空気を感じ、先輩や教職員の話を聞いて、  
 本学をより知っていただければと思います。  
 さまざまなメニューを用意してスタッフ一同お待ちしておりますので、  
 お気軽にご来場ください。  
 ※事前の予約は不要です。

### 開催日程

**新松戸キャンパス**  
 千葉県松戸市新松戸 3-2-1

**龍ヶ崎キャンパス**  
 茨城県龍ヶ崎市平畑 120

6 / 7 [土]

6 / 22 [日]

6 / 28 [土]

7 / 19 [土]

7 / 26 [土]

8 / 2 [土]

8 / 9 [土]

8 / 30 [土]

8 / 24 [日]

9 / 7 [日]

9 / 13 [土]

10 / 4 [土]

10 / 25 [土]

### 開催時間

**10:30 - 15:00**

### 主なメニュー

**自分に合った  
学部学科発見コーナー／体験授業**

**充実の  
授業体験**

**先輩学生との  
フリートーク  
キャンパスツアー&学食体験  
ガールストークカフェ (女子限定) >>>**

**学生生活、就職等  
個別相談**

**合格のポイント  
入試相談**

★開催日によって、各学部学科の  
スペシャルイベントも企画しています。

### お問い合わせ

流通経済大学入試センター

✉ ees@rku.ac.jp

🌐 <http://www.rku.ac.jp/go>

☎ **0120-297-141**

📱 <http://www.rku.ac.jp/go/m>



**RKU RYUTSU KEIZAI UNIVERSITY**

流通経済大学広報誌 **RKU Today vol.27** 2014年4月発行

編集・発行 / 学校法人日通学園 流通経済大学企画広報室

茨城県龍ヶ崎市平畑120 〒301-8555 TEL:0297-64-0001(代表)

